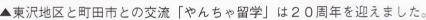
ロジェクトが



活性化センタ

等によりもたらされるマンパ 品の販売促進、定住者の増加 とを目指していくものです。 地域がより元気になるこ や新たな知恵などの効果

なげる際の受け皿として、推

に足を運ぶなど次の行動へつ より詳しい情報を調べ、本町

川西町に興味を持った方が

通じて地域の宝の再確認や産 ています。さらには、交流を 増やすことを第一の目標とし とによって川西町のファンを ジェクト」です。 ひとつが「交流基盤確立プロ た3つの重点プロジェクトの 期基本計画。この計画で示し なる第4次川西町総合計画後 今年からの5カ年が対象と

らの人の流れを活発化するこ れらの背景を踏まえ、都市か への関心が高まっています。 さを志向するライフスタイル 市では地方でのゆとりや豊か 手不足が深刻化する一方、 高齢化が進展し、地域の担い このプロジェクトでは、 地方では大幅な人口減少と こ 都

しています。 的にアピールするマークと から本町への興味を一層喚起 際、数ある地方の自治体の中 価値を伝えるポスターを作製 本町が都市の方に約束できる してもらえるよう、町を視覚

なってもらう まずはファンに

わなければなりません。 を確かなものにするためには まずはひとりでも多くの方に 西町のファンになってもら 交流により期待される効果

ネットでのプレゼントキャン とともに、 り多くの方をファンとするに たセミナーの開催、 展や本町の地域資源を活かし は町に興味を持ってもらう わりがある方だけでなく、よ ペーンなどを始めました。 つ方が集まるイベントへの出 やまがた里の暮らし推進機構 ではきっかけづくりとして きっかけ」が必要です。 これらのきっかけづくりの これまで本町と何らかの関 地方への興味を持 インター 町

川西ファンの 増加



町に もたらされるもの

- ・地域の宝の再確認
- 商品の販売促進
- ・マンパワー
- ・知恵
- ・技術 ... など



地域力の維持 向上

が取り組むイベント等の情報 開設されました。このホーム 向けた川西町の情報を整 も積極的に発信しています。 ページでは、 www.satonokurashi.jp/) したホームページ (http:// 進機構によって、 町内の各団体等 都市の方に

大学校 やまがた里の暮らし

を活用した体験イベント等を 感じてもらうために地域資源 原田俊二町長)では、川西町 企画していきます。 りを含めた各種情報発信を始 を知ってもらうきっかけづく の暮らし推進機構(理事長: 昨年設立されたやまがた里 また本町により親しみを

さらに、今後は、川西町と「ご 組みを作り、その先の効果に 受できるファンクラブ的な仕 成の取り組みも進めています。 する際に必要とされる人材育 ながり、相互にメリットを享 つなげる役割を担います。 その一方、交流事業を実施 ができた方と継続的につ

います。 の実施に向けた準備も進めて 見してもらう「かわにし検定 携した調査研究も行っていま す。ここでは、交流人材育成 ンソーシアムやまがた」と連 学等の連合体である「大学コ んに自分の暮らす地域を再発 ての課題について、県内の大 交流事業を進めるにあたっ 環として、町民のみなさ

> ます。 の暮らし大学校」 た取り組みを「やまがた里 一と呼んでい



ある効果 ファン拡大の先に

だけで表現し、空と水のブルー、

水田や自然

マークは「川西」の文字をシンプルに直線

ますが、希望される方に提供いたします。

を提供します。ポスターも枚数に限りがあり

希望される方には、デジタルデータ

様々な用途でどなたでも使用いただくことが

マークは、名刺やホームページをはじめ

可能で、

しくは左記までお問い合わせください。

も参考にしました。

が求められます。 促進する施策の積極的な展開 等を図るためには、これらを 経済的な効果や定住者の増加 ファン拡大の先に見据える

のとなります。 揮できるように配慮されたも 交流事業が最大限の効果を発 でに各団体等が実施してきた す。これらの施策は、これま 面的な政策展開を行う予定で 施策が有機的に結びついた多 クト期間中にひとつひとつの 町では、5カ年のプロジェ

に元気になることを目指して 活気があふれ、 的な効果によって、 最終的には、これらの総合 地域が今以上 町全体に

これら一連の交流促進に向

いきます。

活用ください マークとポス 川西町への興味を惹くきっかけとしてマー

ター

を

は

の窓辺に置かれた本のビジュアルで、

を象徴するグリーンで表しました。ポスター

「晴耕雨読で暮らす」というコピーと民家

シンボルマーク 西町の魅力を端的なデザインや言葉に昇華し 暮らす方、この町を良く知る方から伺った川 ていく作業を行い、さらには都市住民の評価 クとポスターを作製しました。 これらを作製するにあたっては、この町で

表現しています。

る暮らし」というこの地が提供できる価値を の移ろいをベースに生産や文化的活動に携わ

シンボルマ



▲ポスター

四季